11　情報

学校番号	T0308

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新編　社会と情報」　（東京書籍）						
副教材等							

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コンピュータやネットワークについて知識として学び、日常使っている機械（コンピュータ）に対して、理解を深め、良い使い方（モラル）は何かを実践的・体験的な学習を通して考えましょう。
・実践的、体験的な学習を通して、情報収集、情報加工、情報発信を学び日常(仕事)で活用できる能力、態度を身につけましょう。

２ 学習の到達目標

・コンピュータを情報収集、日常（仕事）で使えるようにする
・情報の取捨選択をし、取得した情報から新たな情報をクリエイティブする
・情報の収集、加工、発信に必要な知識、態度、判断を身につける

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報を多角的・多面的に吟味し、その価値を見極めていこうとする態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度	・さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉える力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力 ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力	・情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている	・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解
評価方法	学習状況の観察 実習課題 相互評価 等	学習状況の観察 実習課題 相互評価 等	学習状況の観察 実習課題 相互評価 等	学習状況の観察 実習課題 相互評価 定期考査 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	小単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
前期	ビジネス情報	○情報の基礎的な知識	情報社会で生きていく中で必要な情報の知識を学習する (講義型)	○			○	a:社会（日常、仕事）で必要な情報活用の態度が身についている。 b:様々な情報を的確に伝えられる形式的な表現を身につける。 c:情報社会を生きていく上で必要な事務ソフトを使えるようになっている。 d:情報社会参加に必要なコンピュータの概念を理解している。	学習状況の観察 実習課題 相互評価 定期考査
		○ビジネス文章の構成	ビジネスに必要な文書の構成を知る (講義型)		○				
		○ワープロソフトの使い方	ビジネス文書作の実践を通してワープロソフトの使い方を学 (実技型)	○		○			
		○表計算ソフトの使い方	実践的な Excel の使い方を通して Excel の使い方を学 (実技型)	○		○			
前期・後期	クリエイティブ情報	○情報社会の問題	情報社会におけるトラブルや問題を学び情報モラルの意識を高める(講義型)				○	a:情報の取捨選択ができる態度が身についている b:ネットから取得した情報から新たな情報を作ることができる c:新しい情報を生み出すために必要なソフトウェアが使えている d:情報（ネット）社会における課題を知識的に身につけている	学習状況の観察 実習課題 相互評価 定期考査
		○情報収集	インターネットを使い問題を調べ解決する (実技型)	○					
		○画像処理ソフトの使い方	作品作りを通して画像処理ソフトの使い方を学(実技型)		○	○			
		○プレゼンテーションソフトの使い方	作品作りを通してプレゼンテーションソフトの使い方を学 (実技型)		○	○			
後期	コミュニケーション情報	○プレゼンテーション(発表)	プレゼンテーションの知識をつけ他者に伝える方法を知る。また、1年間通して学習したソフトを使いプレゼンテーション(発表)を実際におこなう。 (講義、実技)	○	○	○		a:今までの課題作成を通して身につけた情報収集、活用を振り返り総合的に課題作成に望む態度がみについているか b:自分が伝えたい事を的確に伝える態度が身についている c:今まで身につけた情報機器活用が身についているか d:情報社会に参加するために必要な知識を身につけているか	学習状況の観察 実習課題 相互評価 定期考査
		○情報社会を生きていくために必要なこと	1年間通して学んだ情報社会で必要な知識を再度確認し確実に身につける (講義型)				○		

※モジュール形式の授業構成で①座学、②タイピング練習、③実技の順番で授業を構成する

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。